

# 「浪速の名橋50選」の利用活用

No.1

- 1 淀川沿いの橋巡り  
～大学生をガイド～
- 2 浪華三大橋から桜宮橋  
～ぶら・土木への協力～
- 3 船を利用した橋巡り  
～近畿地整・技術スペシャリスト会議のガイド～

# 1 淀川沿いの橋巡り: CVV主催

No.2

机上説明: 2017年6月17日(大学にて、約1時間)

橋巡り実施日時: 2017年7月8日(土) 10:00~15:00

参加者: 大阪市立大学 14人  
CVV 9人 (合計23人)

行程: 淀川大橋から豊里大橋まで  
(歩行距離 約11km)

ガイド方法: 3班に分け、各班の2名のガイド。

# 淀川沿いの橋巡り: コース

No.3



# 淀川沿いの橋巡り：ガイド状況

No.4



淀川大橋 (b班)



十三大橋 (a班)



新淀川大橋 (c班)



菅原城北大橋 (集合写真)

# 学生アンケート結果(1)

No.5

- 当時設計に携わった方からのお話や、歴史的な観点から橋梁を見ることができ、とても有意義な時間でした。
- 50年以上経った橋梁がまだ使用されており、昔の技術はすごかったのだと感心しました。
- 歴史ある橋梁の構造や付属物が、どのような経緯で変化したかを知れた。
- 説明を聞きながら橋を見ることはあまりないので、その点が多かったと思います。より理解が深まりました。
- 写真ではなく実物を見ることで、周囲の環境との兼ね合いなどがイメージしやすく、来年から橋梁メーカーで働く予定の自分としては、とてもよい機会でした。

# 学生アンケート結果(2)

No.6

- 暑いことを除けば、とても充実したコースだと思った。
- 時期をもう少しずらして涼しい時期がよかった。11kmは長すぎる。
- 季節に応じて歩行距離を変えた方がよいと思いました。真夏だと熱中症や脱水症が懸念される。
- 定期的に休憩ポイントがあるといい。途中でコンビニ等、水分がとれる場所がほしかった。

## 2 ぶら・土木への協力

No.7

主催： 土木学会関西支部

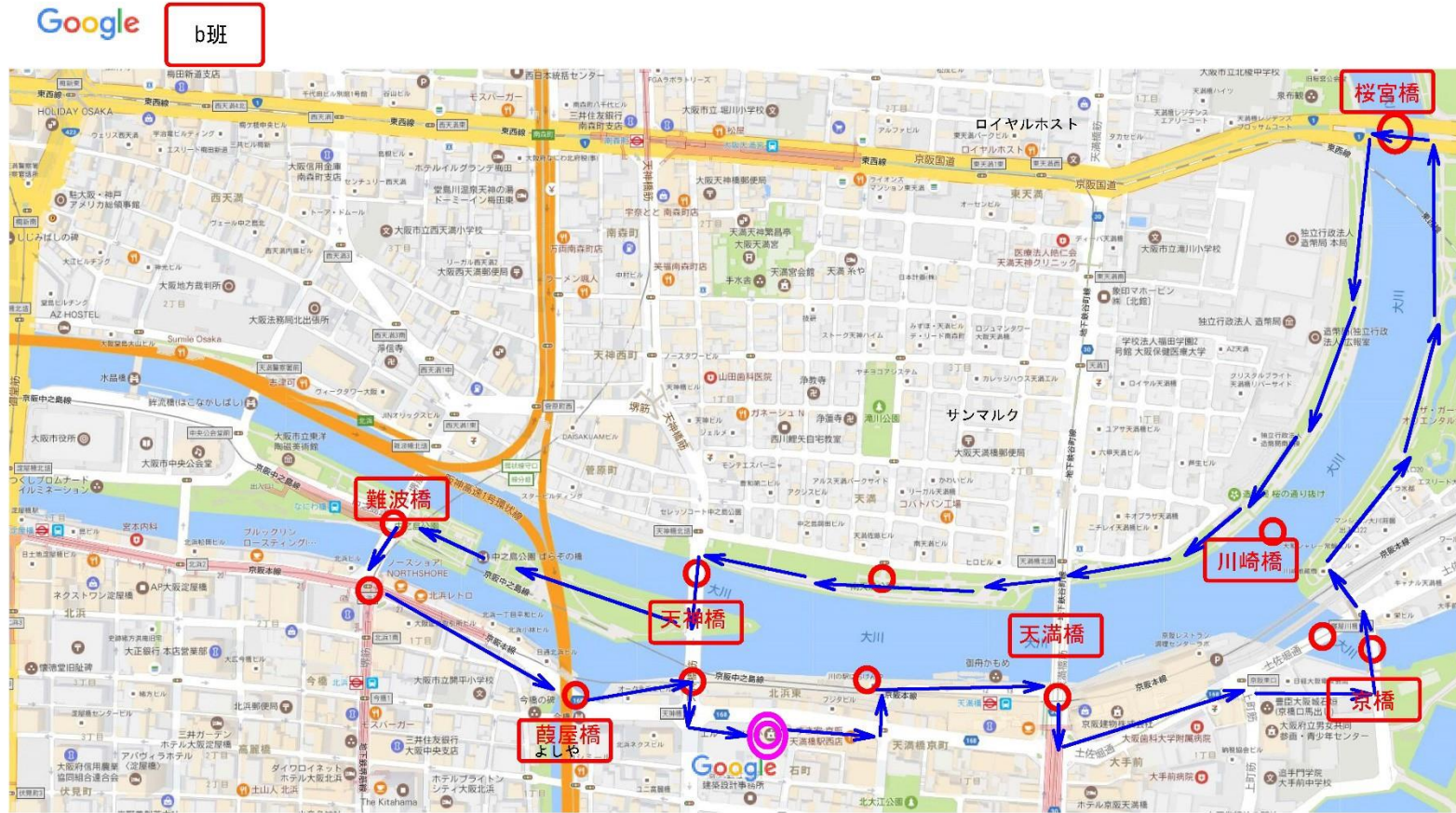
実施日時： 2017年6月3日(土) 13:00～17:00

参加者： 一般参加者13人、企画担当幹事4人、  
CVV 6人（合計23人）

行程：浪華三大橋から桜宮まで(歩行距離 約8km)

ガイド方法：机上説明(30分)、コースごとに3班に  
分け、CVVのガイドが橋巡りを先導。

# 橋巡りのコース例



地図データ ©2017 Google, ZENRIN 100 m



# 各班の集合写真

No.9



a班(天神橋にて)



b班(天満橋にて)



c班(天神橋にて)

- 橋について専門家の説明を聞き、直接質問ができる貴重な機会だった。
- 橋の歴史や構造など幅広く知ることができた。
- 実物を見ながら詳しい話を聞く機会はなかなかないので、とても勉強になりました。
- 若い人がいろいろなところに興味を持って見ることに感心した。
- 歩く距離が少し長く、ペースが速く感じた。歩行時間は、2時間くらいがよい。

# 3 近畿地整への協力

No.11

主催者：近畿地整（技術スペシャリスト会議）

実施日時：2017年10月20日（金）10:00～15:00

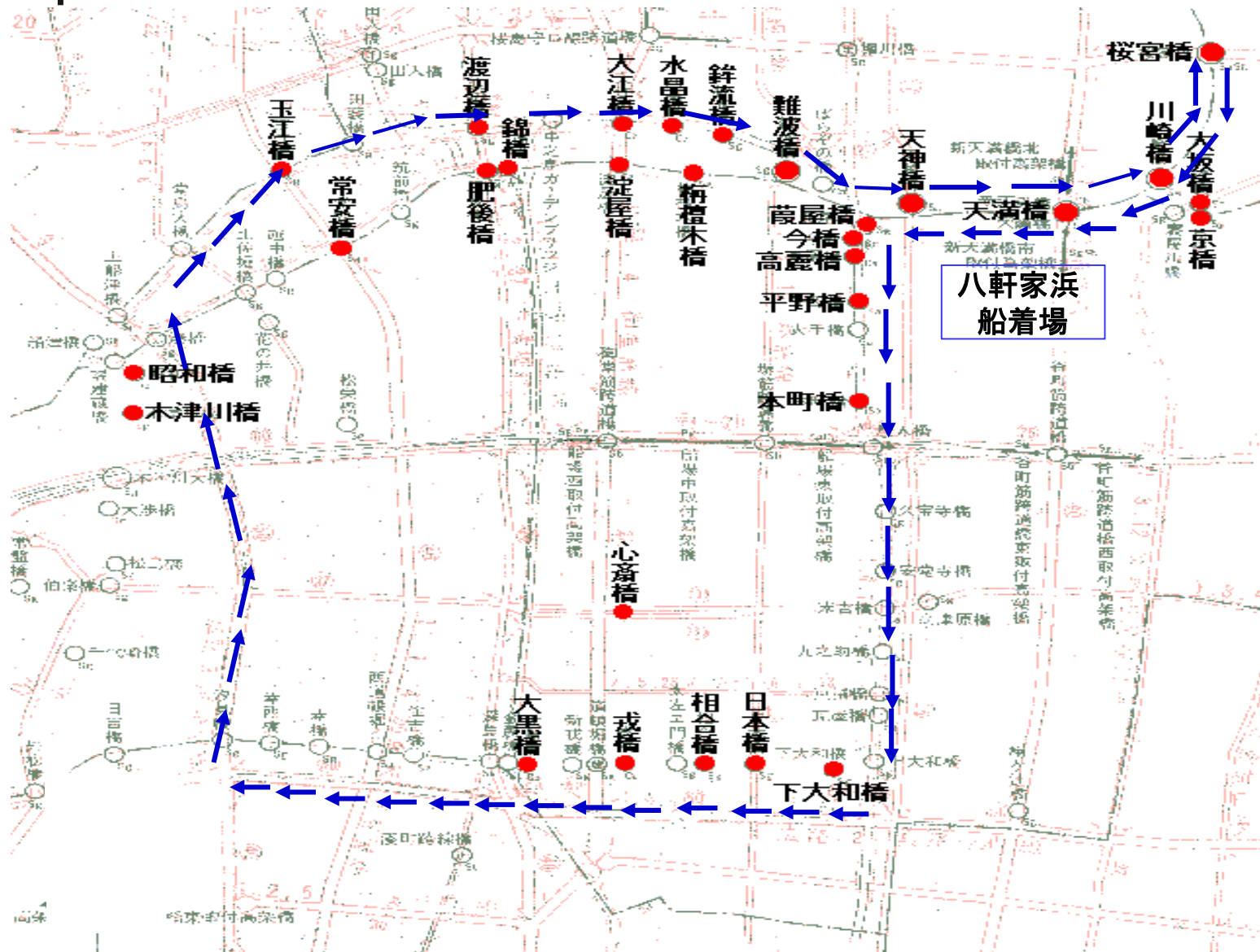
参加者：近畿地整12人、近畿建設協会7人、  
CVV 6人 （合計25人）

内容：10:00～ 机上説明（約40分）

11:00～14:00 船にて橋巡り（23橋）

14:00～ 意見交換会

# 橋巡りのコース



# 近畿地整への協力

No.13



机上説明



使用した船



東横堀川の橋



桁下



大川の橋



意見交換会